

妙安寺だより 353

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

謹賀新年 平成26甲午年

開山 可觀院日延上人 (1)

明けましておめでとうございます。

本年は、妙安寺の開山である上人が亡くなられてから350年になります。

〔寛文5年(1665)正月26日 世壽77歳〕

※5月25日(日)開山上人350遠忌法要を行なう予定です。詳細は追ってご連絡いたします。

日延上人は、寛永の七聖の内(当山寺宝のに署名)の一人で、寛永7年(1630)2月、江戸城においての結果、不受不施の論議を主張し、幕府から流罪や追放の処分受けられました。

※身池対論=身延と池上との不受不施の対論。

※=に対する信仰の純正を保ち、また信仰を異にする者からの布施供養を受けず、のを防止するため、異宗の者への布施供養を拒否すること。

韓国の円光大学韓国文化学科の教授は、「朝鮮王朝実録」などに、臨海君についての記録は出てくるものの、その息子の日延についての言及は見られない。したがって、梁教授の主張が事実ならば、400年前に欠落した王家の歴史が新しく糾明されることになる。

また、朝鮮の歴史では、まだ記録資料が発見されていないと主張し、韓国の学会などでは議論が広がる見方もある。(平成14年10月28日 韓国 中央日報掲載記事より抜粋)

また、梁教授は、日本で8年間にわたり仏教思想史について勉強され、日延上人の寺院を訪ね歩き、朝鮮王朝第14代大王の長男の子であること。漢城(現在のソウル)で生まれたことなど、上人について韓国においてその研究論文を発表されました。

梁教授の研究、立正大学の寺尾英智教授の論文を中心に、日延上人の生涯を連載し、少しでも檀信徒の皆さまが、うちのお寺の開山上人は、こういう人であるということを、少しでもお分かり戴ければ幸いに思います。(以下次号へ)

1月 2月の行事予定

1 月

※ 正月1・2・3日 午前11時・太歳三カ日回向
午後 1時・太歳三カ日祈願

*同封の申込書で12月31日までにお申し込みください。

※ 正月19日(日)午後 1時より お鏡開き・大黒天神祭

*大黒様お祀りの方は、ご持参ください。

2 月

※ 2月 2日(日)午前11時より 木 焼 式

午後 1時より

星祭り厄除け祈願

方除け祈願

豆まき・福引

*同封の申込書で1月31日までにお申し込みください。

※ 2月16日（日）午後 1時より

宗祖日蓮聖人降誕会

先師報恩法要

永代供養追善法要

※太歳三カ日の回向札・祈願札 寒修行のお札 星祭り・方除け祈願などのお札は、星祭り祈願終了の際にお渡しいたします。
尚、当日お見えにならない方は、各家の位牌堂、並び大黒様のご宝前にあります。
また、郵送希望の方は、その旨お知らせください。（郵送料 500円）